

第6学年 国語科学習指導案

日時 7月5日(金) 5校時
 場所 6年5組教室
 指導者 中村 健一

- 1 単元名 食べてみたいな！こんな給食 (特設)
- 2 本時案 (第1次 2/2時分)
 - (1) 主眼 絵を指さしながら話すことができる。
 - (2) 準備 食べてみたい給食の絵、スピーチ原稿 (児童) スピーチ審査用紙 (人数分)
 - (3) 学習過程

<ol style="list-style-type: none"> 1 スピーチコンテストの審査ポイントを聞く。 2 審査ポイントに合わせて、スピーチの練習をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・審査ポイントを示すことで、スピーチの技能を意識させる。 ・審査ポイントを意識して練習することで、スピーチの技能を向上させる。 ・隣の人と相互評価することで、自分のスピーチの技能を客観的に理解させる。 ◎スピーチの練習に一生懸命取り組みることができる。(観察)
<ol style="list-style-type: none"> 3 班に分かれて、スピーチコンテストの予選を行う。 4 班代表を選び、班代表のスピーチを見直す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・班代表を1人選ぶというルールでゲーム化し、子どもたちの意欲を高める。 ・少人数グループでスピーチすることで、話すことが苦手な児童の抵抗を減らす。また、聞き手の負担を少なくする。 ◎絵を指さしながら話すことができる。(観察・児童のスピーチ審査用紙) ・決勝戦を班対抗の形にすることで、予選落ちした児童の意欲を持続させる。 ・班で見直しをすることで、代表の児童のスピーチを向上させる。また、他の児童にもスピーチの技能を学ばせる。
<ol style="list-style-type: none"> 5 クラス全体で決勝戦を行う。 6 ふり返りを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスみんなの前でスピーチすることで、班代表の技能を伸ばす。 ・班代表のお手本スピーチを聞くことで、他の児童にも技能を学ばせる。 ・ふり返りを書くことで、この授業で学んだことが何なのかを言葉にかえ、学習化する。 ◎この授業で学んだスピーチの技能を次回に活かそうとすることができる。(ふり返り)